



議会だより

Vol. 140

伊那市議会事務局

TEL 0265-96-8149

FAX 0265-76-9117

E-mail gkj@inacity.jp

伊那市議会6月定例会では6議案と請願・陳情4件、議員提出議案5件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案と請願・陳情を紹介します。

全会一致で可決した議案など

(一般案件)

◆**財産(土地)の処分**(東原工業団地産業用地のC区画の売却について可決しました。)

◆**請負契約の変更**(伊那インター工業団地D区画の請負契約の変更について可決しました。)

(条例案件)

◆**太陽光発電設備の設置等に関する条例の一部改正**(条例内の重複規定を整理する改正について可決しました。)

◆**農業委員会に関する条例の一部改正**(農業委員、農地利用最適化推進委員の定数を変更する改正について可決しました。)

◆**道路占用料徴収条例の一部改正**(高速自動車国道または自動車専用道路に、燃料又は動力源としての電気を供給するための施設を加える改正について可決しました。)

(令和6年度補正予算案件)

◆一般会計

(低所得者支援及び定額減税補足給付金、高遠第2・第3保育園の仮園舎改修工事、産科等開業支援事業などに対する補正予算を可決しました。)

(請願・陳情)

◆**「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書**

(さらなる少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持、負担率の還元などを求める請願を採択しました。)

(請願者:伊那市公立学校教職員組合 代表 田中 達也 氏(紹介議員:小池 隆 議員))

◆**「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書**

(へき地手当及びへき地手当に準ずる手当の支給率について近隣県並みの水準に戻すことを求める請願を採択しました。)

(請願者:伊那市公立学校教職員組合 代表 田中 達也 氏(紹介議員:小池 隆 議員))

(議員提出議案)

◆**女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出**(可決)

◆**さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出**(可決)

◆**へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書の提出**(可決)

■請願・陳情について 賛成…○、反対…×、趣旨採択…☆

■議案について 賛成…○、反対…×

(なお、原則として議長は採決に加わりません。)

賛否の分かれた議案など

区分	件名	委員会結果	池上謙	伊藤のり子	唐木拓	小池隆	篠塚みどり	高橋姿	高橋明星	三石佳代	湯澤武	吉田浩之	小林眞由美	原一馬	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	飯島光豊	柳川広美	田畑正敏(議長)	本会議結果
請願・陳情	◆女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情 (陳情者:上伊那地区労働組合会議 議長 湯澤 航 氏)	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	○	○		採択
	◆訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書 (陳情者:長野県社会福祉推進協議会 代表委員 宮沢 裕夫 氏)	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	☆	☆	○	○	○	○	○		採択
議員提出議案	◆訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出	付託省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○		可決
	◆国の指示権を拡大する地方自治法の施行に当たり附帯決議を十分に踏まえた制度運用とすることを求める意見書の提出	付託省略	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

6月伊那市議会定例会 一般質問から

令和6年6月伊那市議会定例会の一般質問は、6月18日、19日、20日の3日間に行われ、19人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



池上 謙



国土交通省の天竜川水系河川整備計画に「戸草ダム建設」という文言を明記する要望について

問

池上謙議員 河川整備計画原案が発表され、地元説明会も行われたが、「新設ダム」としか明記されていない。

既に下流域の安心安全のため、戸草ダムの用地を提供した地元の願いを早期に実現するため、基本計画には「戸草ダムの建設」の文言を明記するよう、国に強く要望されたい。

答

市長 国交省は、地元の切なる要望であることは十分理解している。また「新設ダム」

問

池上謙議員 基本計画は、今後長野県知事などの意見を聞いて最終変更される。

長野県関係機関などの戸草ダム建設に係る意思の疎通と国への要望活動の更なる強化について

答

市長 同盟会には、下伊那の沿江市町村議会議長も加わるなど、組織強化をしてきた。引き続き、県や諏訪湖流域治水期成同盟会とも連携して要望活動を行なっていく。



湯澤 武



流域治水の強化と、戸草ダム建設推進について

問

湯澤武議員 天竜川水系河川整備計画の変更案に明記されなかった「戸草ダム」建設を強く推進すべきだが。

答

市長 「新設ダムの検討」とは「戸草ダム」であることは自明。流域全体の市町村の願いでもあり、しっかり連携して強く要望していく。

問

湯澤武議員 伊那谷フィルムコミッションの強化について

答

市長 伊那市の観光の重要なアイテム。ロケ地マップを更新するなど情報発信を強化したい。

フィンランド教育から学ぶ、日本一の学びのまち伊那市について

問

湯澤武議員 子どもの学びと居場所としての仮称「伊那市 森と学びセンター」を市民の森に設置すべきだが。

答

市長 共感するところがある。森林関係者や教育関係者、官民一体となつて進めていきたい。



原 一馬



信州そば発祥の地伊那を市内小中学校で講演する提案

問

原一馬議員 地域ブランドを意識した取組みは、多くの方面への効果が期待できる。そばの食文化や歴史などの講演を小中学校で行うことで、そばの文化が地域により根ざしていくことを期待できるが。

答

市長 伊那を代表する食であるそばの講演を聴くことで、児童・生徒が自分の故郷をさらに知る機会となつて、郷土愛の醸成につながっていくと思う。学校から依頼があれば、地域おこし協力隊を中心に伊那そば振興会の協力を得ながら、そばに関する

る学びの場を提供していきたい。
先人の遺した400を超える遺跡の活用について

問

原一馬議員 壊されずに残っている遺跡を、研究のフィールドワークの場として積極的にアピールすることを提案する。一つの事業で多層的重層的に多くの効果を発揮すると思われるが。

答

教育長 市の計画でも、研究機関などへのフィールド提供を事業としている。手続きの支援も可能な範囲で行いたい。



宮原 英幸



孤立・孤独への対応について

問

宮原英幸議員 市としての実態把握はどうか。

答

市長 国でも対策推進法を制定するなど、孤独・孤立問題は高齢者のみならず若年層でも深刻化している社会課題である。市は今年度、独自の実態・課題解決ニーズ調査を行い、支援施策充実に努める。実証中の会話型ロボットも、今後年代層

を拡大し、令和8年度以降の実装を目指す。相談内容は多様化、複雑化しており、関係各協議会で専門性が高いものも含め、機関連携で相談の実情に寄り添った伴走支援を行っていく。

50年の森林ビジョンにおける特に私有林管理について

問 宮原英幸議員 私有林の境界・所有者確認の進捗はどうか。特に、市内生産森林組合の経営が厳しい。市としての積極的対応を望むが。

答 市長 境界明確化では、ドローン調査でみなし境界を作成し、所有者の同意を得て施業につなげる。「デジタルINAモデル」として手法を確立したい。市内24の生産森林組合は重要な経営主体だが、市が経営関与することは難しい。県と連携し、国県補助制度の紹介や具体的な解決策や計画的な管理策を見出すための情報を提供するとともに、持続可能な林業経営方策を研究していく。



公民館などを活用した子どもたちの居場所について

問 小池隆議員 平日の放課後、中高生の自習室を地区公民館で地区と協同し、取り組んでみては。

答 市長 取組みを要望する地区があれば連携し、検討する。

問 小池隆議員 地域力を活用し、子どもたちを見守り育てていく思いについて市の見解は。

答 市長 地域力を活用した子育ては重要であり、積極的に関わるができる地域、人々とは連携していきたい。

問 小池隆議員 小学生が放課後に週1回、遊びや学習を含めたプログラムで地域の方と一緒に過ごすアットホームな居場所づくりを、地区公民館でモデル的に取り組んでみては。

答 市長 取り組める環境が整った公民館が出てくれば、一つのモデルとなると考える。

地域の力を生かした高齢者等世帯に対するゴミ出し支援について

問 小池隆議員 あったかご近所ネットワーク事業の拡大・育成のため、支援者の報酬額の見直しを。

答 市長 要望があれば見直していく。

問 小池隆議員 利用者負担の軽減または全額負担するために、現在配布している「おたすけ券」の増額及び所得制限の解除を。

答 市長 必要に応じた回数分のおたすけ券は追加交付しており、所得要件の解除も検討していく。



国民健康保険の18歳以下の均等割の軽減について

問 柳川広美議員 ①物価高騰対策に子どもの国保税均等割を半額に。②子ども誰でも通園制度への対応は。

答 市長 ①市独自の補助は、現状ではできない。②保育士6名は必要。

メタボ健診に歯科検診を追加することについて

問 柳川広美議員 塩尻市は特定健診で歯科検診を行い、健康に寄与している。伊那市も実施を。

答 保健福祉部長 特定健診と同時の実施は難しいが、節目健診を勧奨する。

離婚後の共同親権について

問 柳川広美議員 DV被害者が共同親権制度により離婚が難しくなる。伊那市で相談窓口の設置を。

答 市長 女性相談は子育て支援課、虐待は子ども相談室、生活困窮は福祉相談課で対応。必要により無料法律相談も紹介している。

同性パートナーに事実婚と同じ表記を

問 柳川広美議員 同性カップルの住民票の続柄は、事実婚と同じ表記を。

答 市長 現状では「世帯主・同居人」と表記する。続柄の表記について、特に相談は受けていない。



道路網の整備と渋滞対策などについて

問 吉田浩之議員 市道南部線は、拡幅や歩道の設置などが必要ではないか。

答 市長 順次拡幅をしている。必要に応じてグリーンベルトなどの設置を検討したい。

問 吉田浩之議員 県道沢渡高遠線と南部線の交差点に交通安全施設の設置を。

答 市長 信号機の設置を含めた交差点改良を行うよう関係機関と調整し、進めている。

問 吉田浩之議員 県道伊那生田飯田線と南部線の交差点改良をしたらどうか。

答 市長 県道伊那生田飯田線の拡幅を進めており、早急に完了するよう県に働きかけていく。

問 吉田浩之議員 伊駒アルプスロード整備は、次に三峰川渡河部を優先するべきと考えるが、市長の考えは。

答 市長 渋滞解消のため、三峰川渡河部を含めたその他の区間についても、早期に整備に着手できるように要望していく。

自主防災組織施設整備について

問 吉田浩之議員 自主防災の補助金で整備される資機材の傾向は。また、お出かけ講座で多い内容は。

答 危機管理監 パソコン、テレビや簡易トイレなど。お出かけ講座は、地域タイムライの作成支援が多い。

問 吉田浩之議員 Wi-Fiの整備は、従来の補助金と別に支援をしてはどうか。

答 市長 現行の補助制度の中で整備してもらいたい。



からさわ ちあき
唐澤 千明

高校再編に伴う地域づくりについて

問 唐澤千明議員 高校再編により伊那北駅からの生徒の流れや車の流れが増す中、駅前交差点の大規模な改良が必要だが考えを。

答 市長 J-R東海とも意見交換している。技術新校開校後には、今の通路や交差点スペースだけで安全を確保するのは難しい。安全第二で使いやすい駅前広場、自由通路、歩道橋や右折レーンなどの整備など、総合的に実現性を検討していく。

問 唐澤千明議員 若手職員中心のまちづくりプロジェクトチームの活動状況と今後のまちづくりに、皆で連携し見える形で発信していくことが重要だが考えを。

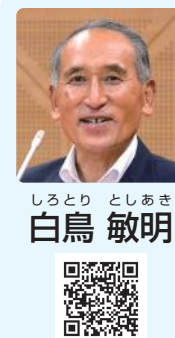
答 市長 このプロジェクトチームは、2月に素案をまとめた。7月には準備会が始まり、8月には協議会を設立する中で、様々な皆さんの意見を聞いて取り組んでいく。

木造住宅の安全確保について

問 唐澤千明議員 所有者が分かっている危険な空き家の解体に、行政が関わり解体することが重要だが考えを。

答 市長 空き家の解体は、原則として所有者が行うべきだが、判明した場合、危険度の高い空き家は特定空き家に指定し、指導・助言などの措置を講じ、改善が見込まれなければ

代執行となる。解体費は、所有者に請求する。なお、判明していない場合、相続人調査が必要になり、裁判所の手続きを進め、解体することになる。



しろとり としあき
白鳥 敏明

子育て支援施策の更なる充実について

問 白鳥敏明議員 育児休業取得による未満児の育児退園制度廃止の検討を。

答 市長 育児退園制度廃止は、保育士確保が課題ですぐには行えない。来年度は10名程の正規職員保育士の採用を予定している。まずは未満児の入園キャンセル待ち解消に努めていきたい。

問 白鳥敏明議員 自転車で通学する中学生の6km未満も含めた全自転車通学生に、年間1万円の補助制度の検討を。

答 教育長 国の基準に基づき、市の遠距離通学費補助金要綱で定め、支出している。補助基準の6km以上に満たない所への支出ができないことは、やむを得ないことである。今後の子

育て支援策の全体の中で整理し、検討していきたい。

問 白鳥敏明議員 現在計画中の美原防災スポーツパーク(仮称)に、雨天でも子どもが遊べる場所の創設の検討を。

答 市長 本施設は、平時は屋内体育施設として、災害時には防災拠点施設として利用する施設として整備を進めている。球技練習場と子ども遊び場との共存は危険であるため、施設を利用していないときに子どもたちが利用できるような柔軟な対応を考えていきたい。施設には、子どもが遊べる簡易なニースポーツ用品や道具などの配備も検討している。



こばやし まゆみ
小林 眞由美

マイナンバーカードの健康保険証利用について

問 小林眞由美議員 令和6年12月2日からは健康保険証が廃止され、マイナンバーカードの健康保険証(マイナ保険証)利用に移行されるが、マイナンバーカード申請交付状況は。

答 市民生活部長 本年5月末の交付率は80・1%で、保有率は72・8%である。

問 小林眞由美議員 12月までの間、医療機関や薬局でのマイナ保険証利用拡大促進と市民への丁寧な利用方法などの説明及び積極的な広報を。

答 市長 国民健康保険税納税通知書などにマイナ保険証利用のメリットの説明を同封したほか、マイナンバーカードへの保険証未登録者で登録希望者には登録支援を行っている。

マイナ保険証利用拡大、健康保険証廃止の呼びかけは、市報や伊那市公式ホームページへの掲載に合わせて、マイナ保険証の使用方法を含めた広報番組を作成し、窓口案内システムでも放映する。

7月の健康保険証更新時には、マイナ保険証についてのパンフレットを作成し、同封する予定。





いいじま みつとよ
飯島 光豊



食糧自給率と有機米 学校給食について

問 飯島光豊議員 国は食糧自給率を38%（実質10%）に落とし、農家を資材高騰と価格低迷で苦しめているが、市は今年度から、農家を助ける有機米給食を始める。内容、購入価格、全校へ広げる計画は。

答 市長 市内全校米飯給食の消費量は約70トン、減農薬米の導入も必要に応じ検討したい。

農林部参事 有機米給食を提供する学校は、長谷、高遠、新山、美簗の7校で2か月間。供給量は2.4トンで価格補填額は65万円を予定。

マイナ保険証とマイ ナンバーカードについて

問 飯島光豊議員 マイナ保険証取得は任意であり、義務ではない。ところが、薬局などに貼られた国のポスターによって「12月からマイナ保険証利用がないと受診できなくなる」との誤

解を市民に与えている。

答 市長 国には丁寧な説明を求めたい。

問 飯島光豊議員 マイナ保険証を保有していない人が医療機関を受診するとき、また、保有している人が詐欺や情報流出の不安でマイナ保険証を解除したいときはどうするか。

答 保健福祉部長 マイナ保険証を保有しない人には資格確認書が発行され、受診できる。保険証更新時に資格確認書を周知する。解除は10月頃から受付が開始され、加入する保険者へ申請する。解除すると、資格確認書が交付される。



みさわ としあき
三澤 俊明



運転免許制度と 消防団車両について

問 三澤俊明議員 平成29年の道路交通法改正後の普通免許で運転できない小型ポンプ積載車は、あと何台伊那市に残っているか。また、それらの更新予定は。

答 危機管理監 42台中、該当する3.5トン以上ある車両は10台であり、令和21年には更新完了予定である。

問 三澤俊明議員 ポンプ車に関して、改正後の普通免許でも運転可能な車両もあるが、今後そちらに更新する考えはあるか。

答 危機管理監 そのタイプの車両には四輪駆動車がな

問 三澤俊明議員 3.5トン以上ある消防団車両を運転可能な「準中型免許」の取得に対して補助金を出したらどうか。

答 市長 県内や上伊那の市町村の取組みと、消防車両の更新方法を含めて研究していく。

鹿頭奉納祭について

問 三澤俊明議員 福島区も参加する祭りであるが、箕輪町、南箕輪村と同様に無形文化財に指定できないか。

答 教育長 文化財を維持する意識の醸成が大切。関係する地域でよく話し合い、文化財指定の要望を出してほしい。

問 三澤俊明議員 指定がない文化財の維持に対して、補助金などはあるか。

答 教育次長 考えられる事業もあるが、まずは、生涯学習課の文化財係に相談することを勧める。



たかはし すがた
高橋 姿



深刻な松枯れ防止について

問 高橋姿議員 庭木の松枯れは、補助金の対象になるか。松枯れで倒れて他人に被害が出た場合には。

答 市長 庭木の松枯れは、自分で処理するのが原則。被害が出た場合は、所有者が責任を負う。

問 高橋姿議員 新設する木質バイオマス発電所は、10cm超の剪定木を有料で引き取るとしているが、無料か買取りはできないか。

答 市長 処分料のご負担をお願いしたい。ペット用のアマツなどとは買取りを行っている。

熊対策について

問 高橋姿議員 熊のゾーニングを考える上で、西箕輪は有害鳥獣用フェンスがない。

市が設置に係る人件費も補助する考えは。

答 市長 フェンスの設置は、他の有利な制度の活用も検討してほしい。熊は増えており、ゾーニングに基づき対応する必要がある。

伊那市が創る障害福祉サービス

問 高橋姿議員 日中一時支援、タイムケア事業の1時間単価は530円で非常に安く、事業が困難。見直しは。医療的ケア児等支援事業を伊那市として取り組めないか。

答 市長 単価と内容を含め、研究していきたい。

問 高橋姿議員 伊那市社協に委託している地域生活支援センターの利用者数が少ない。内容も含め見直しを。

答 市長 民間委託も含め、慎重に検討したい。





いとう のり子
伊藤 のり子



「水田活用の直接支払い 交付金」について

問

伊藤のり子議員 令和8
年度までに1か月以上、

水張りをして収量が落ちなければ、5年間は産地交付金2万円／10aが支払われる。この要件に合致しない耕作者の救済策について、「畑地化促進事業」の「畑地化支援・定着促進支援」では、「産地交付金」とは同じ金額が受け取れるが、確認事項の中に「おおむね団地化された畑地を形成していること（国が定める面積要件はありませぬ）」とある。①個別の事例に対して県や国の判断を仰ぐことは可能か。②伊那市として、そば農家を支援するための対応策を講じることはできないか。

答

市長 ①判断に迷う場合は、関東農政局に相談し、

より多くの農家が事業に取り組めるように対応したい。②そば農家の収入アップを図る取組みは進めていきたい。

農林部参事 ①「おおむね団地化」については、県や国から具体的な判断基準は示されていない。②周知を図っていく。



たかはし めいせい
高橋 明星



学校プールの今後の 水泳授業について

問

高橋明星議員 水泳授業は、児童・生徒及び保護者の

精神的・経済的負担、教員のプール施設の老朽化や維持管理費の負担も大きいこともあり、水泳授業の縮小や廃止、地域移行の動きが全国的に広がっている。伊那市はどう考えるか。

答

市長 検討委員会を立ち

上げ、今後の学校プールや水泳授業のあり方について検討を行っている。学校の立地や規模によつて、①自校のプールの活用、②隣接校による共同利用、③高遠スポーツ公園プールや民間プールに集約して行うといった3つの方法による水泳授業を計画している。

信州やまなみ国民スポーツ大会の課題と成功させるための方法について

問

高橋明星議員 4年後の国スポでソフトボール4種

目全てを伊那市で開催予定だが、宿泊施設の確保や昼食の提供は十分にできるのか。また、大会を成功させるための方法は。

答

市長 宿泊先の確保は県の実行委員会が行う見込み

であり、弁当の手配も市内業者で十分可能である。春の高校伊那駅伝のノウハウも活かしていく。市民全体で盛り上げていくことが重要であり、市民総参加で伊那市らしい大会になるよう検討していく。



にへい ひろし
二瓶 裕史



カスタマーハラスメントについて

問

二瓶裕史議員 ①職員に

対するカスタマーハラスメントの実態は。②対応マニュアルを作成しては。③名札のフルネーム廃止をできないか。④電話の常時録音も必要ではないか。

答

市長 ①来庁者からの暴言、SNSへの書き込みなど、年数回の相談や報告がある。

②独自の対応マニュアルを整備していかなければならないと思つてゐる。③トラブル回避という点で重要なことである。早期に環境を整えたい。④録音が必要な部署はたくさんある。録音機器の導入を考えていく時代である。

大学の誘致について

問

二瓶裕史議員 地元に進学先が少なく、伊那に

居続けたいのに離れなくてはならない、という若者がいる。弥生ヶ丘高校の将来活用という課題がある中、大学の誘致についてどう考えるか。好機と考えるが。

答

市長 他地域から若者が集まる大学や専門学校

の誘致は、地域経済の活性化や賑わい創出、人材育成の観点からも有益である。大学誘致も一つの選択肢として有効な活用施策を県に提案していきたい。



しのづか 篠塚 みどり



今後の新型コロナ ワクチン接種について

問

篠塚みどり議員 今後の新型コロナウイルスワクチン接種の実施予定と費用補助は。

答

保健福祉部長 65歳以上を対象に、年1回秋冬定期接種を行う。上伊那統一の額で自己負担額を設定する予定である。

子どもの権利条例について

問

篠塚みどり議員 子ども

の権利条例と「子ども部」の新設方針について。

答

市長 令和7年度に「こども部」を新設する方針。

子どもへの包括的な支援をするため、各部署で展開している施策を統括する課を新設する。「子どもの権利条例」については、新たな体制において課題分析し研究していく。

乳幼児健診の時間変更について

問

篠塚みどり議員 乳幼児健診を午前中または土日に。

答 保健福祉部長 3歳児健診は、小児科医や医療専門職の協力が必要。診療時間の兼ね合いで時間の変更は難しい。

市営住宅の連帯保証人廃止について

問 篠塚みどり議員 市営住宅の連帯保証人制度の廃止を求めるが。

答 市長 他市町村の状況や問題、課題を研究し、慎重に検討を進めていく。



みついし かよ
三石 佳代



女性の所得倍増を目的とした起業支援と、水資源を活用した水産業振興について

問 三石佳代議員 政治経済の男女格差は深刻で、女性の所得向上施策は急務。今後、養殖はシステム化が予想される。総合計画に水産業を盛り込み、女性起業支援を検討いただきたい。

答 市長 条例の制定など、男女共同参画の実現に向

け取り組んでいる。水産業は伊那市の計画にはないが、計画する者がいれば、男女問わず支援を考えたい。

新たな特産品開発事業、ドジョウとうなぎの養殖について

問 三石佳代議員 農地から養殖池への転用は自然環境にも良く、うなぎなどブランド化は山椒など薬味農作物の販路拡大にもつながる。新特産品開発事業としてドジョウとうなぎ養殖の推進について見解を。

答 市長 国産ドジョウは高価だが、中国産の輸入ドジョウは安価で競争が難しい。うなぎの養殖は農林水産大臣への届出制で、稚魚配分も国が管理している。水温を保つのに経費が掛かり、各地の事例をみてもうなぎ、ドジョウの伊那市ブランド化は難しい。



からき たく
唐木 拓



回覧板のあり方について

問 唐木拓議員 多くの場所で古い緑色のタイプの回覧

板が使われているが、広告主が最新の回覧板が使われていると思うていることは問題である。新しい青い回覧板がどの程度使われているか把握しているか。また、各地区へ更新の要請をした方がよいのではないか。

答 総務部長 市は、各地区の希望に沿って新しい回覧板を配布しているが、更新状況は把握していない。また、使える回覧板をあえて破棄する必要はなく、更新要請は考えていない。

問 唐木拓議員 デジタル回覧板システムの今後の検討は。

答 市長 現在は検討していないが、自治会の負担軽減のために紙配布以外の方法も研究が必要である。

問 唐木拓議員 ホームページで閲覧可能であるので、全戸配布物を紙で受け取ること

を希望しない世帯に対して、配布物を配布しないのはいかがか。配布物が削減されれば仕分け作業や配布作業で多くの方々の負担が軽減できるのではないか。

答 市長 現在も希望数の調査を行っているが、さらなる周知を行っていく。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、原則として定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託され、審査を行います。本会議での委員長報告後、採決します。

次回9月定例会審査の受理期限は、8月21日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しく下さい

どなたでもお気軽に本会議や委員会を傍聴することができ、是非お越しください。

過去の議案などについて

過去の議案、議会中継映像などについては、市議会ホームページに掲載してありますので、ぜひご覧ください。

QRコードについて

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご活用ください。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。



伊那市議会
ホームページ
はこちら

フェイスブック、 インスタグラムについて

伊那市議会では、議会の公式行事など様々な情報を発信するため、フェイスブック、インスタグラムの運用をしています。



伊那市議会公式
フェイスブック
はこちら



伊那市議会公式
インスタグラム
はこちら

常任委員会の構成が 変わりました

5月13日の臨時会において、議会の構成が変更となりました。申し合わせで、2年ごと変更することになっています。

伊那市議会ひとくちメモ

常任委員会とは？

市の仕事を分野ごとに担当し、調査審査を行う委員会です。議員は、いずれか一つの委員会に所属しなければなりません。伊那市議会では3つの常任委員会が設置されています。

議会運営委員会

委員長	唐澤 千明
副委員長	飯島 光豊
委員	池上 謙
	篠塚 みどり
	高橋 姿
	小林 眞由美

議会の円滑な運営のために、諸々の課題について協議する。また、本会議の日程調整や進行を確認する。

総務文教委員会

委員長	宮原 英幸
副委員長	吉田 浩之
委員	篠塚 みどり
	田畑 正敏
	白鳥 敏明
	野口 輝雄
	唐澤 千明

【所管事務】

総務、企画情報、財政、防災、選挙、監査教育、生涯学習、スポーツ振興など



長谷総合支所

6月25日に所管施設の現地調査を行い、スポーツ施設や教育施設の整備状況などを確認しました。また、新しく建設された長谷総合支所庁舎は、木造平屋建てになりますが、上伊那産の木材を多く使った木のぬくもりを感じられる長谷らしい雰囲気を持った庁舎となっています。

社会委員会

委員長	小林 眞由美
副委員長	高橋 姿
委員	池上 謙
	伊藤 のり子
	湯澤 武
	二瓶 裕史
	柳川 広美

【所管事務】

市民生活、生活環境、税務
社会福祉、高齢者福祉、子育て、健康推進など



伊那市駅前トイレ

6月24日に所管施設の現地調査を行いました。竜北保育園、子育て支援センター（竜南・富県）は長寿命化による活用を確認しました。伊那市駅前トイレは内装に伊那谷の写真や県産材を使い、屋上スペースも設置されました。民間施設のオアシス高遠（特養）、みぶの里クリニック（内科）は新たな地域福祉拠点として期待されます。

経済建設委員会

委員長	原 一馬
副委員長	小池 隆
委員	唐木 拓
	高橋 明星
	三石 佳代
	三澤 俊明
	飯島 光豊

【所管事務】

農林、商工、観光、産業立地
建設、住宅、都市整備、上下水道など



南アルプス長谷戸台パーク

6月21日に所管施設の現地調査を行いました。伊那インター、東原工業団地をはじめ環状北線、伊駒アルプス道路整備予定地、戸台口観光拠点施設等を視察しました。「南アルプス長谷戸台パーク」として、4月にリニューアルオープンした仙流荘とその周辺は、南アルプスの玄関口として観光開発の拠点として期待されます。

委員長

野口 輝雄

副委員長

池上 謙

委員

伊藤 のり子 / 吉田 浩之 / 篠塚 みどり

白鳥 敏明 / 小林 眞由美 / 唐澤 千明

飯島 光豊

伊那市の人口は平成7年をピークに減少に転じ令和6年6月1日現在の人口は6万5078人となっています。人口減少を抑制するために、自治体ごとに子育て支援策の充実が図られると共に、今や全国的に移住人口獲得競争に入っています。しかし、自然減が大きいことから中長期的な人口の大幅減少改善が難しいため、基軸は「地域での産業創生」とそれにリンクした「移住定住策」がポイントとなります。また、進学や就職活動で市外に出た若者を伊那に呼び戻す施策などを課題とし、対応を検討します。議会の総意として市政の中に反映できるように、考えや提言をまとめ取ります。

人口減少対策特別委員会

6月定例会で2つの特別委員会が設置されました。各委員会の目的、今後の活動についてお伝えします。

委員長

三澤 俊明

副委員長

高橋 明星

委員

唐木 拓 / 小池 隆 / 高橋 姿

三石 佳代 / 湯澤 武 / 原 一馬

宮原 英幸 / 柳川 広美

伊那市のまちづくりは大きな期待と夢のあるテーマであります。高校再編により、伊那新校や上伊那総合技術新校の最寄り駅となるJR伊那北駅周辺の整備、弥生ヶ丘高校の将来的な活用方法、伊那市駅前再開発、また、伊那市駅から伊那北駅間の新たなまちづくりなどがあります。人口減少や少子高齢社会が進む中では、今後の社会情勢の変化を考慮しながら先を見据えたまちづくり検討が重要と考えます。議会としての考えや提言をまとめ、議会の総意として市政の中に反映できるように取り組めます。

まちづくり課題検討特別委員会**伊那市議会ひとくちメモ****特別委員会とは？**

特定の問題について調査・審査するため、議長の諮問により必要に応じて設置される委員会です。

議会政策(市民)サポーターを委嘱しました

伊那市議会では、市民参加の機会を増やすための取り組みの一環として6名の市民の方に議会政策サポーター(市民サポーター)の委嘱書を交付しました。今後、常任委員会が市長への政策提言を行うにあたり



議員との意見交換などを予定しています。任期は2年です。どうぞよろしくお願いたします。

議会だよりへのご意見募集！

広報委員会では、議会だよりの刷新に向けて調査検討を始めました。議会だよりをご覧いただいている皆様からのご意見も、参考にさせていただきたいと思っております。お気軽にご意見をお寄せください。下記QRコードから、または30P記載のファックス、メールアドレスあてにお送りください。



アンケートフォーム